

技 術 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成29年度病害虫発生予察技術情報第1号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ） 新世代の発生量及び果樹園への飛来時期について

8月以降は果樹カメムシ類が越冬成虫から新成虫に入れ替わる時期となります。現在、新世代は主にヒノキのきゅう果上に生息し、きゅう果が餌として好適な期間はヒノキ上にとどまりますが、吸汁によってきゅう果の劣化が進み、餌として不適となるとヒノキから離脱して果樹園へ飛来します。

今年はヒノキ樹上の寄生虫数、ヒノキきゅう果の着生量が多いため、今後の気象条件によっては果樹カメムシ類の増加が予想されますので、果樹園への飛来に注意して防除してください。

記

1. 新世代の発生量について

- (1) 7月下旬に実施したヒノキきゅう果のビーティング調査の結果、1枝当たりの寄生虫数は4.3頭（平成1.9頭）と平成より多かった（表1、2）。
- (2) 7月下旬に実施したヒノキのきゅう果着生状況調査の結果、県内15地点の平均着生量は3.5（平成2.6）と平成よりやや多かった（表1、2）。

表1 ヒノキ樹（きゅう果着生枝）における果樹カメムシ類の寄生状況（平成29年7月24、26日調査）

	チャバネアオカメムシ(頭/枝)					ツヤアオカメムシ(頭/枝)					合計	きゅう果着生量*
	成虫	老齢	中齢	若齢	計	成虫	老齢	中齢	若齢	計		
平成29年	1.1	0.8	0.8	0.2	2.9	0.9	0.4	0.1	0.0	1.4	4.3	3.5
平成	0.4	0.2	0.4	0.6	1.6	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	1.9	2.6

* きゅう果着生量は5段階（多:5、やや多:4、中:3、やや少:2、少:1）で区分し、全調査地点の平均値を示した

表2 果樹カメムシ類の寄生状況およびヒノキのきゅう果着生量の年次別推移

年度	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	平成	29年
寄生虫数(頭/枝)	0.3	1.8	2.6	2.6	1.2	2.8	4.7	2.5	0.6	0.3	1.9	4.3
きゅう果着生量	1.6	4.4	2.4	2.6	3.1	3.0	2.2	3.5	1.0	2.3	2.6	3.5

注1) 値は長崎県病害虫防除所の調査（ビーティング法）による

注2) きゅう果着生量は、程度を5段階（多:5、やや多:4、中:3、やや少:2、少:1）として遠観調査した

2. 果樹園への飛来時期について

- (1) 7月24日および26日に採集したヒノキきゅう果上の口針鞘数調査の結果、調査地点の平均的口針鞘数は2.3本（平成2.2本）と平成並であり、果樹園への飛来時期は表3のとおりと予

測される。

表3 ヒノキきゅう果における口針鞘数及び離脱予測日

調査地点	7月24日、26日採集	
	口針鞘数 (1果当たり)	離脱予測日
諫早市多良見町東園	2.3	9月7日
〃 佐瀬	2.5	9月6日
長与町岡	8.6	8月16日
時津町西時津	1.7	9月9日
西海市西彼町小迎	0.1	9月15日
西海市西海町木場	0.9	9月12日
諫早市長田	1.9	9月11日
大村市今村	3.2	9月6日
東彼杵町赤木	0.2	9月15日
雲仙市瑞穂町伊福	1.3	9月13日
雲仙市国見町百花台	0.4	9月16日
南島原市有家町新切	0.0	9月17日
南島原市北有馬町田平名	0.0	9月17日
佐世保市宮	2.8	9月5日
佐世保市針尾	3.3	9月4日
平均	2.3	9月8日

表4 口針鞘数及び離脱予測日の年次別推移

年度	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	平年	29年
調査日(月/日)	7/28	7/28	7/26	7/28	7/22	7/26	7/22	7/22	7/22	7/21	7/24	7/24
口針鞘数(本/果)	0.8	1.9	2.5	2.4	0.7	2.8	2.5	1.2	6.2	0.8	2.2	2.3
離脱予測日(月/日)	9/17	9/13	9/9	9/11	9/12	9/8	9/5	9/9	8/22	9/10	9/8	9/8

注1) 平成29年7月24日、26日に採集した、きゅう果30果についての口針鞘数を数えた

注2) きゅう果は1果当たりの口針鞘数が25本以上になると餌として適さなくなり、餌不足になったカメムシはヒノキから離脱して果樹園に飛来する

注3) 予測日は予測式(福岡県農業総合試験場作成)を利用して算出した

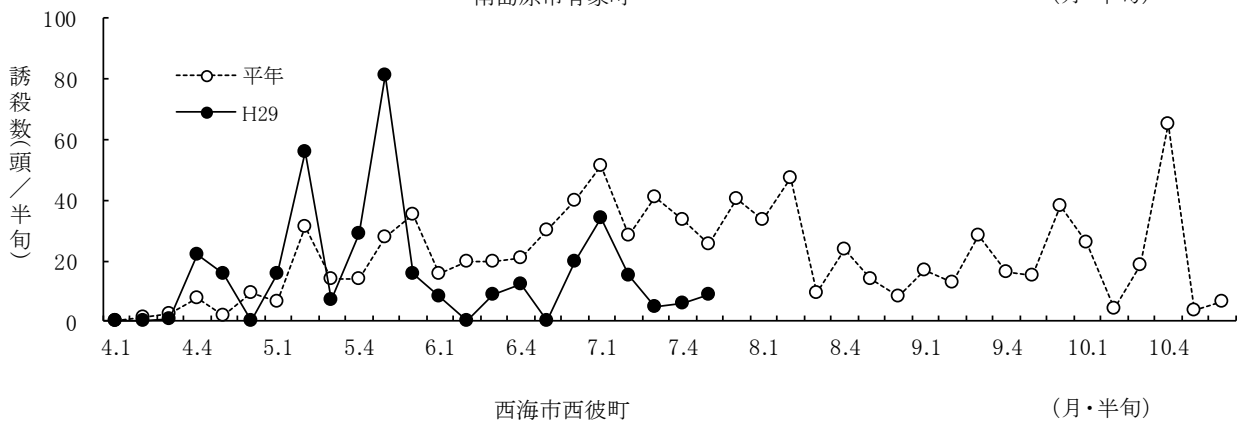
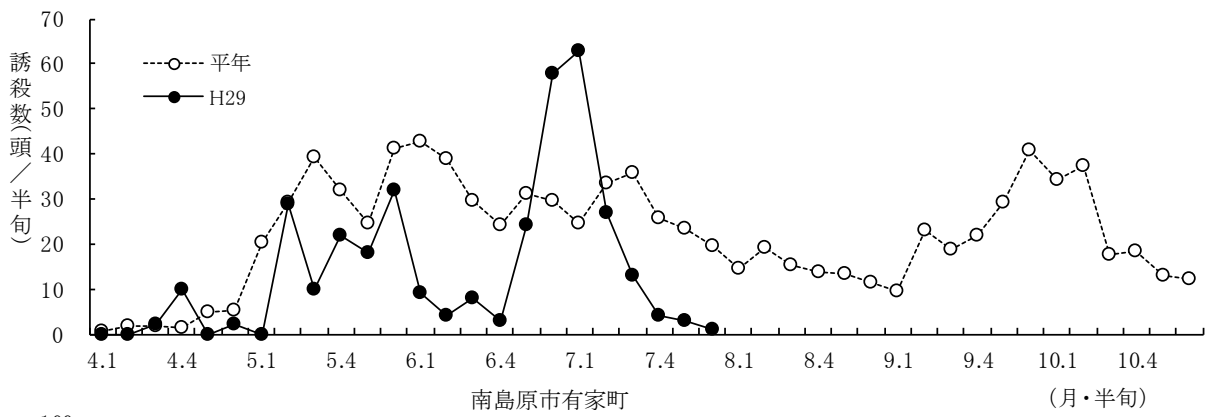
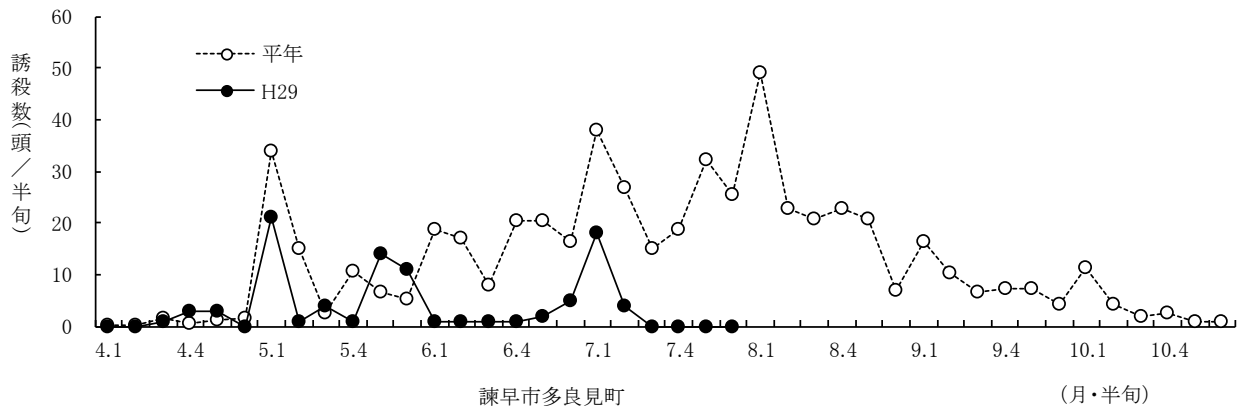
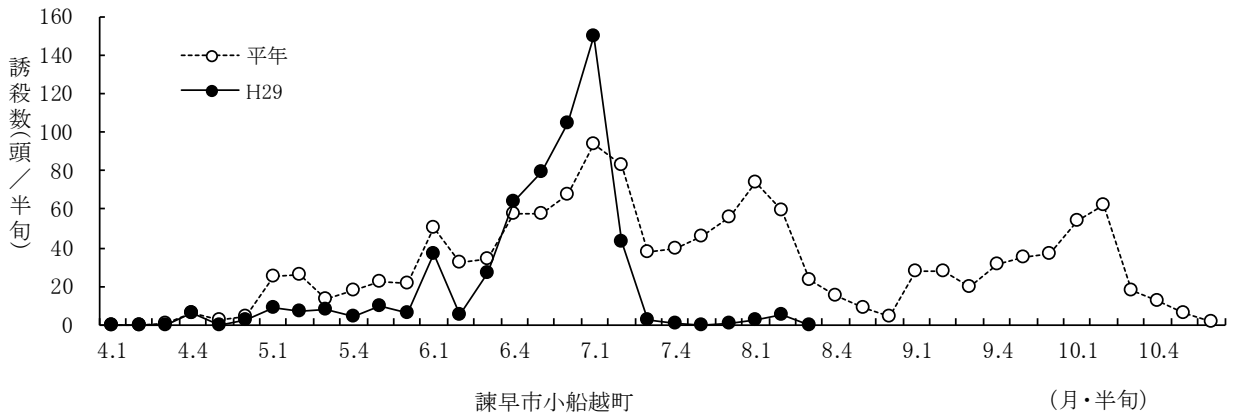


図 チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシの誘殺状況(黄色コガネコール)

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 山林に近い園地や毎年発生を認める園地などでは、上記の予測日を目安に見回りを徹底し、カメムシ類の飛来が認められた場合には早急に防除を行う。
- (2) 飛来時期や飛来量は園地によって異なる場合があるので注意する。

○6月1日から8月31日までの3か月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。農薬を使用する機会が増える時期です。事故を防ぐため、特に以下のことに気をつけましょう。

- ・農薬を使う前にはラベルに記載されている注意事項をよく読み、使用方法や使用上の注意を守りましょう。
- ・クロロピクリン剤等の土壌くん蒸剤を使用するときは、揮散した薬剤が周辺に影響を与えないよう風向き等に十分注意するとともに、直ちに適正な厚さの資材を用いて被覆を完全に行いましょう。また、使用後は、ほ場に立て札を立てる等により、関係者以外の者の立入りを防ぐようにしましょう。
- ・散布の際には、周辺への飛散に気を付け、周囲の作物、住宅、家畜、河川などへの影響に注意しましょう。
- ・散布後は十分に器具を洗浄し、農薬の保管場所には必ず鍵をかける等適切に管理し、誤飲・誤食を防止しましょう。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

